

旭川市立近文第二小学校 学校だより



近二っ子



第7号 令和6年 10月



豊かな結び目を見つめて

校長 成田 麻友子

小学校の10月は、おそらく今も昔も学芸会でしょう。子供の人数が減ったり、準備にかけられる時間が少なくなったりして、昔のような大がかりな演劇や器楽演奏をすることは少なくなりましたが、日頃の学習の成果を発揮し、観客の皆さんに少しでも楽しんでもらえるような工夫を凝らすという点では、変わりありません。今年度は1・2年生がブレーメンの音楽隊、3・4年生が近二っ子テレビと題したステージ発表、5・6年生が寿限無(じゅげむ)を題材に演芸ステージと、明るく楽しい演目が並びました。子供たちは当日パワーを発揮し、総練習に増して輝く舞台を創りあげました。大人であれば飲まれてしまう舞台の緊張すらエネルギーに変えてしまう様子は、本当に驚くほどです。学校運営協議会委員の皆様や同窓会長をお迎えしての今年の学芸会は、旭川で初雪が報道された寒い日でしたが、皆さんの胸に、温かい思い出をしっかりと残してくれたと思います。

先日、ある合唱団のコンサートを聞きに行きました。姪がソプラノ歌手としてゲスト出演するとのことで、久しぶりに大人の合唱を聞きました。3部構成のコンサートは実に聴き応えがあり、ソプラノと合唱がコラボする「キエフの鳥の歌」は、哀切漂う調べに胸が震えました。団員のほとんどが70歳以上かというその歌声は、年月を重ねた深みのあるもので、豊かな声量にも感動しました。プログラムをみると、指揮は以前職場の同僚だった方。コンサート後のホールでは大学の先輩とも会いました。聞くと、父親が合唱団のメンバーなので来たとのこと。

縁とは不思議なものです。姪が出演するという機会がなければ、おそらくコンサートが開催されることも知らずにいたと思いますが、思わぬ至福の時間を過ごすことができました。自分も人生の後半にある中で、今回、輝きを放つ舞台上の方々に出会えたことは、目標や目的をもって日々を楽しみながら生きることの素晴らしさを実感させてくれます。そして、自分が普段考えている以上に、私たちは様々な繋がりの中に存在しているということにも気付かせてくれました。目の前のことに一生懸命取り組むことは大切で、一本の道をひたすら歩く力強さは人生を輝かせます。けれど、時には顔を上げて辺りを眺めてみることで、世界の広さ、自分が意識せず結んできたものに気づくかもしれません。

校地の際に立つ銀杏が、色鮮やかな葉を落としています。

昔から、秋は文化・芸術・スポーツ等と結びつけて語られますが、この豊かな季節を機会として、自分が生きる中で作ってきた結び目を振り返ったり、新しい縁を結んだりすることの大切さを、伝えてくれているような気がします。

今、未来を生きる子供たちの舞台と円熟の合唱の舞台は、私の中で一つの輝く記憶として結ばれています。

花壇・オレンジロード片付け

初夏に植えた花壇の花やオレンジロードのマリーゴールドの片付けを行いました。PTA生活部・本部役員の皆さん、ありがとうございました。



近文第二小・東鷹栖保育所 学芸会

3・4年生 近二っ子テレビ



1・2年生 ブレーメンの音楽隊



5・6年生 寿限無



保育所



〔11月の行事予定〕

日	曜	行 事 等
1	金	
2	土	
3	日	文化の日
4	月	振替休日
5	火	図書
6	水	クラブ
7	木	高校生インターンシップ
8	金	職員会議
9	土	
10	日	旭川市PTA研究大会
11	月	朝会 生活振り返り集会
12	火	図書 職員研修日
13	水	委員会
14	木	ALT来校
15	金	
16	土	
17	日	
18	月	図書
19	火	図書
20	水	引落日 非行防止教室
21	木	スクールカウンセラー来校
22	金	研修日(授業研)5時間
23	土	勤労感謝の日
24	日	
25	月	
26	火	図書 自動車文庫
27	水	
29	木	
30	金	

《11月の生活目標》

「本をたくさん読もう」

読み聞かせ5・6年生

地域にお住まいの、アトリエPAN DRAの高田さん夫妻が、手作りの紙芝居で読み聞かせをしてくださいました。2月まで、月に1～2度、訪問してくださいます。

